



れきし〜 温故知新

ヴィーブル子ども劇団公演「未来へ」

合志市 **議会だより** 第29号

き
す
な



主な内容

一般会計予算可決

投資的予算拡大!

緊急経済対策

大型補正予算を可決
10億5,100万円

地方分権が進む!

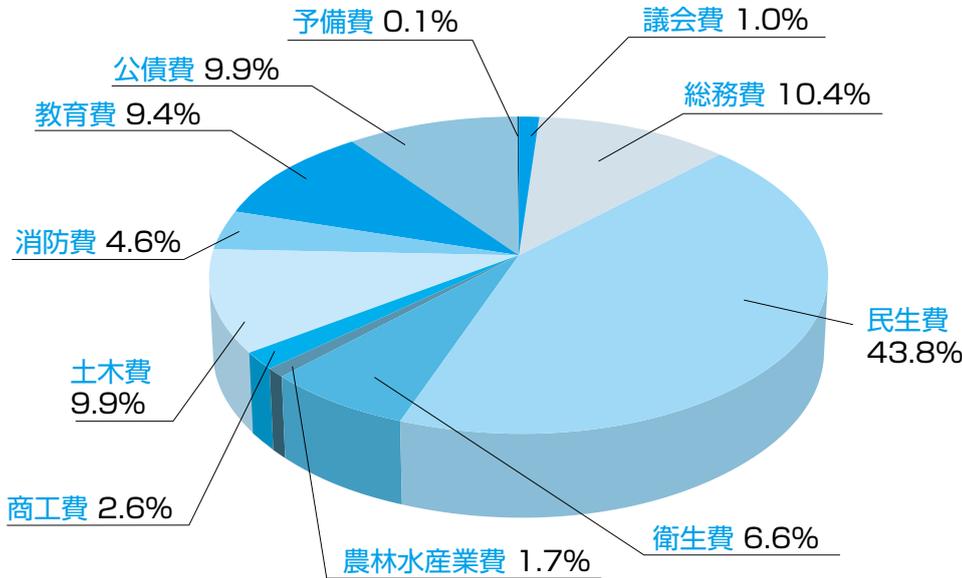
条例制定や改正があいつぐ

一般質問

10名の議員が、国政から
身近な問題まで熱心に質問

可決されました

一般会計歳出予算

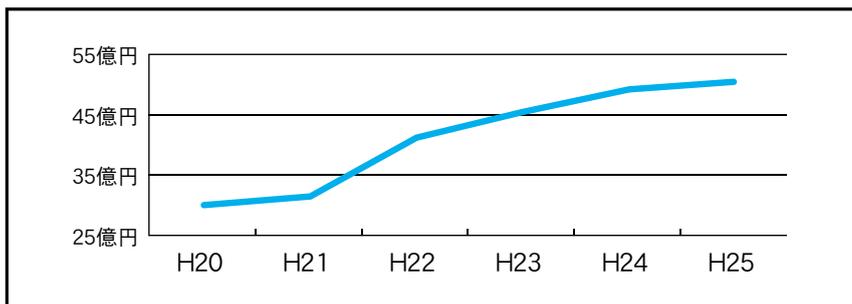


※前年より、11億3千万円多い歳出予算となっています。

民生費（下表参照）が43.8%と大きなウエイトを占めています。

主なものは、総合健康センター（ユーパレス弁天）大規模改修工事（商工費）、社会資本整備総合交付金（土木費）、防災無線のデジタル化（消防費）、があげられます。

扶助費の推移(H20年～H25年)



※民生費の内、約 $\frac{2}{3}$ 程度を占めるのが扶助費です。主に生活保護費、児童手当、高齢者、障がい者、生活困窮者等に対し支援に要する費用のことをいいます。

平成23年～平成25年までは5%～6%の着実な伸びが見られます。

今年の伸びの要因は、児童手当、児童発達支援、放課後等デイサービス給付、障害福祉サービス給付等の増加があげられます。

3月定例会は、3月1日から22日までの22日間の会期で開催しました。合志市新型インフルエンザ等対策本部条例など条例16件、平成25年度一般予算など予算16件、そのほか熊本県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の一部変更など5件、合わせて合計37件が上程されました。いずれも原案を可決しました。

最終日に平成24年度一般会計補正予算が追加提出され可決となりました。

平成25年第1回定例会日程

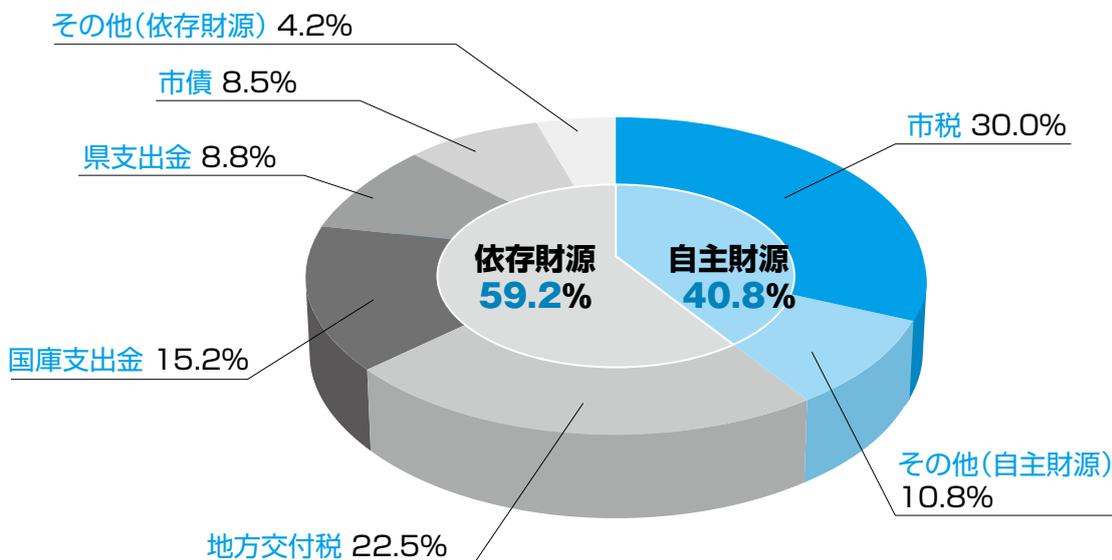
月	日	曜	会議名	主な内容
3	1	金	本会議	市長提出議案上程及び説明
	7	木	本会議	質疑、委員会付託
	8	金	常任委員会	付託事件の審査
	11	月		
	12	火		
	13	水		
	15	金	本会議	一般質問
	18	月		
	19	火		
	22	金	本会議	委員会報告（質疑、討論、表決）

どおり執行されているか、また無駄な使い方をしていないか、市民の皆様の期待に添うよう頑張ってまいります。

一般会計予算が

(予算額は総額173億6千万円)

一般会計歳入予算

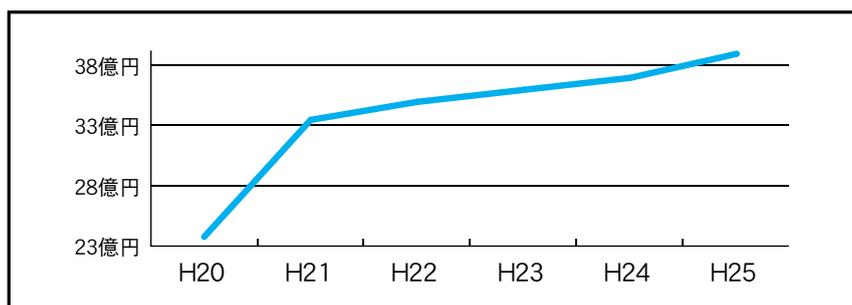


※市税は、約52億円を見込んでいます。

その内、たばこ税は県税の一部が市町村税に移され、前年当初予算より5,500万円増える予定です。

市債(借金)は前年に比べ6,660万円4.3%の減です。

地方交付税の推移(H20年~H25年)



※地方交付税はリーマンショック以降の税収減および人口増等で増えていきます。しかしながら、地方交付税については、合併から10年間は算定方法に優遇措置がありますが、11年目からは徐々に減額され平成33年から本来の額で算定されることで大幅な減額が予想されます。

○平成25年度一般会計予算を議会で可決しました。可決した予算が計画私ども議会は1年間を通じてチェックしていかなければなりません。

平成25年度一般会計予算

投資的支出（施設、インフラ整備費）は、前年より5億円余伸びて、16億9,000万円余となっています。

主なもの

ユーパレス弁天改修工事費 **3億5,000万円**
歩行浴場の新設と温泉掘削など



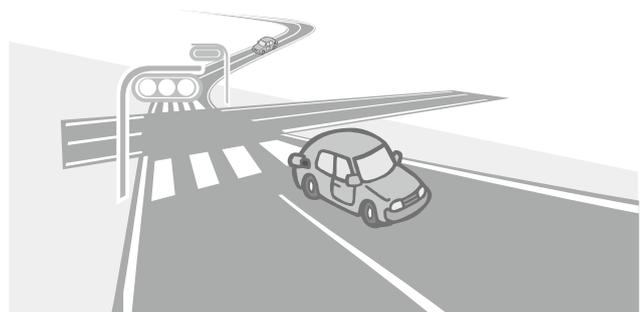
デジタル防災無線整備費 **2億4,000万円**
放送設備の老朽化による更新



保育所緊急整備事業補助金 **2億2,800万円**
定員を増やすための施設改修



上群・中林線道路工事費 **2億3,600万円**
交差点の改良及び道路新設工事



議会インターネット配信構築費 **250万円**
議会本会議がインターネットで見れます



住宅リフォーム助成事業補助金 **600万円**
住宅リフォーム工事をした場合、工事費の10%を補助します。(上限20万円)



緊急経済対策・大型補正予算!

H24年度補正予算可決

補正額 10億5,100万円

予算総額 180億円

主なもの

小中学校236教室にエアコン設置
6億6,700万円



西合志東小改修工事
1億300万円



路面・橋りょう調査及び舗装工事
2億1,700万円



西合志南中体育館・武道場改築工事
8,400万円



求められる市の力! 条例の制定及び改正

可決

- 「地方分権改革推進計画及び地域主権戦略大綱」により
地方分権が進んで自治体の権限と責務が強くなっていきます。

合志市指定地域密着型サービスに関する条例の制定 介護保険法の改正により

合志市が管理する市道に関する条例の制定 道路法の改正により

その他 6件

緊急時、危機対策を強化!

合志市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定 政府から新型インフルエンザ等緊急事態宣言があったとき市に対策本部を設置する

合志市防災会議条例の一部改正 地域防災会議の委員の数を28名以内から35名以内にし、内5名以上を女性にする

その他

合志市特別職等の非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正 監査委員の内、識見委員の報酬を852,000円から972,000円にする

合志市道路占用料徴収条例の一部改正 道路法の改正により

合志市水道事業等の設置等に関する条例の一部改正 将来の人口増や災害を見すえて水道設備を強化する

その他 2件

人事案件

農業委員の推薦 議会から4名の方を農業委員に推薦しました。

うえの
上野かよこ氏 (野々島)

こうし たかとし
合志 隆敏氏 (上庄)

おおやぶ まゆみ
大藪真裕美氏 (須屋)

きなが
木永つや子氏 (上庄)

平成25年第1回臨時会(1月29日)
審議案件と議決結果

審議案件		議決結果
推薦 1件	合志市農業委員会委員の推薦	議会推薦
その他 1件	合志市公共下水道塩浸川浄化センターの建設工事委託に関する協定の一部を変更する協定の締結	原案可決

平成25年第1回定例会
主な審議案件と議決結果

審議案件		議決結果
条例 16件	合志市新型インフルエンザ等対策本部条例 ほか15件	原案可決
予算 17件	平成25年度合志市一般会計予算 ほか16件	原案可決
その他 5件	熊本県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の一部変更 ほか4件	原案可決

賛否表

- 議案第27号 平成25年度合志市一般会計予算
- 議案第28号 平成25年度合志市国民健康保険特別会計予算
- 議案第29号 平成25年度合志市介護保険特別会計予算
- 議案第30号 平成25年度合志市後期高齢者医療特別会計予算
- 認定第39号 平成24年度合志市一般会計補正予算(第8号)

	議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	結 果	表 決 数	西 島 隆 博	松 本 龍 一	後 藤 修 一	濱 元 幸 一 郎	上 田 欣 也	青 木 照 美	坂 本 早 苗	尾 方 洋 直	濱 口 正 曉	坂 本 武 人	吉 永 健 司	神 田 公 司	来 海 恵 子	木 場 田 孝 幸	松 井 美 津 子	木 村 祐 一	今 村 直 登	丸 内 三 千 代	東 孝 助	島 田 敏 春
議案第27号	可決	17:3	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	可決	17:3	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号	可決	18:2	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号	可決	17:3	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	可決	19:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※起立採決を行ったものに限ります。(○は賛成 ●は反対)
 ※池永幸生議員は議長職のため、表決には加わりません。

総務常任委員会

委員長 幸司 春助 博
副委員長 神田 敏孝 隆
委員 島田 孝東 隆
委員 西 篤



合志市防災会議案例の一部を改正する案例

問 女性の起用を5名とした根拠は。少ないのではと思うが。

答 35名中5名で良いのか、迷うところですが、今後意見を聞きながら検討したい。

平成24年度合志市一般会計補正予算について

問 (市民課) 須屋支所を移転したが問題はないか。

答 今のところ好評を得ている。駐車場がセンター利用者の多いとき、多少不便であるが、支所の道前に6台分の駐車スペースを確保したので、今後様子を見ていく。



須屋支所

平成25年度合志市一般会計予算について

(総務課)

問 LED防犯灯設置について計画はないのか。

答 国からLEDの補助の件で話があっており、市でも計画を提出する準備をしているが、採用されるかはまだわからない。

(税務課)

問 税金等のコンビニ収納は、いつからなのか。

答 平成25年度で関係各課にてシステム改修を行い、平成26年度からの運用を予定している。

(商工振興課)

問 観光物産振興協会の組織については。

答 事務局長は、当面市職員が兼務し、現在地域ブランド協議会の地域ブランドプランナーとして勤務する嘱託職員が協会職員となる。また、各種業務を最初から実施するのではなく、小さい規模から徐々に大きくしていく。最終的には行政から切り離す。

問 リフォーム助成について、商品券を使える店舗が少なくないか。他の自治体はどうか。商品券の有効期間が3か月とあるが根拠は。

答 宇土市、菊池市は商品券で助成している。助成金が少しでも多く地元にもわるように考えた。また、年度内に利用してもらうこと

を前提に受付・工事・完了から逆算して3か月とした。有効期間については、中小企業活性化会議で議論したい。

問 ユーパレス弁天の指定管理者はどうするのか。採算は取れるのか。

答 本館は指定管理者を公募し、物産館は観光物産振興協会が管理する考えである。採算については施設の目的を健康福祉施設とするか、観光施設とするかで違ってくる。条例では健康福祉施設と位置づけている。不採算部門のレストランの改善を検討する。

(反対討論)

主に情報企画費の中の住基ネット分を反対する。4情報の本来自治体が管理すべき情報を、国が電算化によって集約するという住基ネットの管理システム、住基カードのあり方については非常に危険性が高いということ。また、総合健康センター大規模改修費でセンター管理を行政が運営するというのは疑問が残る。膨大なランニングコストが掛かるのは当初から言われていたし、一貫してユーパレス弁天のあり方について批判してきたので、認めることが出来ない。で反対する。

(賛成討論)

住基ネット関連予算については、

国の施策に基づく予算で今後の行政サービスに必要な予算であると理解します。ユーパレス弁天改修予算についても、施設の老朽化や運営内容も見直しの時期が来ているし、今後、施設を充実させるためにも必要な予算と考え賛成する。



ユーパレス弁天



物産館

産業建設常任委員会

委員長 正登一苗
委員 口村本松
委員 濱今木坂
委員 長員 長員 委員 委員
委員 委員 委員 委員

合志市都市公園に係る特定公園施設の設置に関する基準を定める条例について

(都市計画課)

問 この条例の内容と今後市として進める対応は。

答 高齢者・障がい者等が利用する近隣公園について移動等円滑化のために必要な駐車場やトイレ等の施設基準を新規に制定するもので、新しく作る公園については、適合させるが、財政上の問題から既存の公園については順次整備していく。

平成24年度合志市一般会計補正について

(農政課)

問 土壌診断助成金の減額25万円というのは対象者が少なかったのか。

答 JAへのチラシ、および農業委員会だよりやホームページに載せてPRしたのだが、なかなか申請件数が伸びなかった。地下水汚染防止のためにも今後、補助のあり方等の検討をして進めていく。

(建設課)

問 緊急経済対策分として道路改良工事(13事業)に1億8,500万円が計上されているが、工期期間はどのようになっているのか。

答 路面性状調査に3〜4カ月かかり、その調査結果を基に設計を

行い、夏から秋口にかけての工事発注を予定している。

平成25年度合志市一般会計予算について

(農業委員会事務局)

問 土地所有者だけでなく、現在土地を借りている人にも、今後の営農について意向調査を行なう必要があるのでは。

答 今後の営農について、規模拡大の意向がある人を地域の担い手として位置付けており、その目的と仕組みを農家に伝えていき農業の振興に役立てる必要がある。

(建設課)

問 市道改良事業、やさしいまちづくり整備事業の中でカラー舗装が計画されているが、その効果は。

答 交差点、通学道路等にカラー舗装実施しているが、具体的な効果は明確に提示できないが、車道を少し狭くして路側部分をカラー舗装することで、より安全に通行できると考えている。また、市民の方よりの評価も頂いているのでカラー舗装をすべきところには、実施していく。

(都市計画課)

問 住宅耐震診断をして改修を申し込んだ場合、上限20万の補助ということだが、算定基準はどうなっているか、また、申し込みが多かった場合は補正での対応となるのか。

答 国の制度では40万円までであるが、本市の財政事情によるもので、事業の23%は補助となり、その半分は交付金として補てんがある。耐震診断をしていることが前提であるので、平成25年度耐震診断をしたとしても、年度内改修は厳しく、今年度の補正はない見込みである。



拾八町笹原線改良予定現場

平成25年度合志市下水道特別会計予算について

問 集中豪雨による道路冠水防止策として調整池整備の面積・規模と今後の対応は。

答 本年度は若原雨水幹線調整池用地として大池に、4,300㎡規模で考えており、詳細設計はこれからである。

問 下水道長寿命化対策事業の内容は。

答 須屋浄化センター汚泥処理施設、すずかけ台汚水中継ポンプ場等について老朽化対応の改修工事を行う。

平成25年度合志市水道事業会計予算について

問 御代志第2配水池築造工事は計画どおりできるか。また、硝酸性窒素の件もあるので、泉ヶ丘配水池、新開配水池をそちらに切り替えるのはいつか。

答 平成25年度中に工事を完成させたい。そして配水管、ポンプ能力等設備検査確認の上、早期切り替えを検討する。



御代志第2配水池築造工事現場

子照武欣一
海木本上藤
委員委員
委員長委員
委員委員
委員委員

健康福祉常任委員会

平成24年度合志市一般会計 補正予算について

(福祉課)

問 児童発達支援・放課後等デイサービス給付の内容は。

答 昨年9月議会の補正予算でも説明したが、障害児支援の強化を図るため制度が改正され、従来市で行っていた児童デイサービスと県で行っていた知的障害児通園施設と難聴児通園施設、重症心身障害児(者)通園事業が、児童発達支援と放課後等デイサービスになり、市町村が行うこととなった。施設については平成23年度まで菊池市にある「輝なっせ」の利用が多かったが、平成24年度からは合志市社会福祉協議会が運営の「れんがの家」でサービスを行うようになり、利用しやすくなったとにも利用可能日数も7日から23日になり、月平均の利用日数が1.7日から5日に増えている。

平成25年度合志市一般会計 予算について

(福祉課)

問 法人監査等指導員報酬の内容と金額の積算根拠は。

答 法人監査等指導員は非常勤職員で平成25年度の権限事務の移

譲で、法人の指導監査については、人事管理・労務管理・財務管理等法人の状況を指導監査する必要があり、専門知識を持った職員がいなかったために設置する。月額16万円の報酬12か月分で、新設の指導員なので、規則を総務課人事班に改正を依頼している。市内21か所の法人の権限移譲が予定されているので、指導監査・定款の認可・設置の認可等についての監修の事務をお願いする。月の勤務日数は16日で、県の指導監査をされている。経験者を採用したいと考えている。

(健康づくり推進課)

問 健康づくり推進協議会の人選・会議の回数、発足はいつか。

答 設置要綱を作成して15名以内を予定している。4月1日から施行し、会議を年5回計画している。12月に健康増進計画が出来上がってからも、進行管理も行う。

(子育て支援課)

問 待機児童支援助成事業とは。

答 認可保育園の入所要件に該当するが、定員超過等により認可保育園に入所できずに認可外保育園に通わせている保護者の経済的負担を軽減するために、認可保育園に入所した場合の保育

料と、認可外保育園の保育料との差額を補助する事業である。モデルとして入所人員85人の認可保育園の保育料と認可外保育園の一番高い保育料の差額を算出し積算している。上限は2万円の予定である。



かすみ保育園

平成25年度合志市国民健康 保険特別会計予算について

問 特定健診受診率の向上への取り組みに対して、議論はあっているのか。

答 養生園以外では心電図と貧血検査は必須ではなかったが、今年から養生園以外の健診機関にも心電図と貧血検査を入れ、健診機関も10から11に増やした。また、40歳(初めて特定健診を受ける年齢)と60歳(退職する年

齢)に1,500円の無料のクーポン券を発行し動機づけした。

平成25年度合志市介護保険 特別会計予算について

問 介護予防が大事というが新規事業がなく、課内での議論はなかったのか。

答 新規事業はないが、通所介護予防事業は週3回を4回に増やし、また、70歳到達介護予防節目検診事業を月2回実施する。予防事業に力を入れようにも保健師が育児休暇で1人休んでいてできなかったが、平成25年度からはスタッフが揃うので力を入れられる。



貯筋体操

文教常任委員会

委員長 津直代
副委員長 尾形三健
委員 丸内永吉
委員 濱元幸一郎

平成24年度合志市一般会計 補正予算について

(学校教育課)

問 西合志南中学校体育館武道場
改築事業について。

答 国の緊急経済対策による平成
24年度国の補正予算に採択された
前倒し事業である。



西合志南中武道場工事現場

(生涯学習課)

問 図書館費の図書館司書につ
いて。

答 昨年より司書として採用予定
の方が、健康上の理由により辞退
されたため、図書館司書補佐員を
採用したことの減額補正である。

(人権啓発教育課)

問 負担金補助及び交付金につ
いて。

答 部落解放同盟合志支部補助金

については、前々年度の補助金を
精査し、2%の減額支給となった。
全日本同和会合志支部補助金につ
いては、平成24年度から地元で行
う会議の日当は支給しないとの同
意を得た。

平成25年度合志市一般会計 予算について

(学校教育課)

問 学校問題解決支援チームにつ
いて。

答 支援チームは、医師や弁護士、
臨床心理士等の専門的な助言を受
ける専門委員と職員等による常任
委員で構成されており、いじめや
体罰、不登校等の問題解決に取り
組むチームである。

問 臨床心理士について。

答 スクールソーシャルワーカー
の活動時間を増やした理由につ
いては、学校と家庭と福祉をつなぐ
支援が強化され、不登校の数も減
るといふ成果も出ているので18
0時間から360時間に増やした。

(生涯学習課)

問 図書館システム使用料につ
いて。

答 このシステムの更新保証期間
は5年であり、システムの構築費
として学校図書館の10校分も入り、
システム機器とソフト代に2、3

00万円、5年間の維持費と保守
管理委託が1、500万円ほどか
かる。市民の利便性のために図書
館の業務を円滑にするために必要
なシステム使用料である。

(人権啓発教育課)

問 ハンセン病問題啓発講演委託
と人権フェスティバルの講演委託
について。

答 ハンセン病問題講演委託につ
いては、当初予算を立てる段階で
講師の人選が出来ていなかったの
で講師委託料として計上している。
人権フェスティバル講演委託につ
いては、2つの事業とも事務事業
の中で人権が尊重される社会づく
りを目指す上で優先すべき重要な
事業として位置づけられている。

問 部落解放同盟合志支部補助金
及び、全日本同和会合志支部補助
金について。

答 あらゆる差別をなくしていく
ための補助金であり、今後、報酬
のあり方等、市の現状を把握しな
がら、差別をなくす取り組みにつ
いて一生懸命がんばっていくこと
も今後の改善点として運営補助
が活動補助にシフトしていく必要
がある。

(反対討論)

部落解放同盟合志支部補助金及
び全日本同和会合志支部補助金支

出並びに解放子ども会学習会開催
事業の支出は、民間の運動団体に
対しての補助金支出に疑問を感じ
るし、認められない。解放子ども
会の学習会については、憲法26条
の教育の機会均等の点からも一部
の地域の子どもたちに学習の環境
を与えることは不平等である。

(賛成討論)

同和問題でいまだに苦しんでい
る子どもたちが、解放子ども会学
習会の中で、学力向上はもちろん
人間として一番大事なところを
先生方から学び、差別に負けない
子どもに育つための必要な予算で
ある。



給食センター太陽光発電設置場所視察

議会運営委員会

2月12～13日 山口県美祢市・山陽小野田市

【視察委員】 委員長 吉永 敏春 副委員長 木村 祐一
委員 島田 孝幸 委員 松井 美津子
委員 木坂 武人 委員 来海 恵正
委員 池永 幸生 委員 濱口 正



美祢市

2月12日 山口県美祢市
2月13日 山口県山陽小野田市
・会派制について
・議会報告会について

議会運営委員会は、平成25年度2月12日山口県美祢市議会、13日、山口県山陽小野田市議会において、会派制、及び議会報告会の視察研修を行いました。

両市議会ともに会派制を取り入れており、政策提言や一般質問における内容の精査等が必要とのことでした。また、議会報告会においては、美祢市では、年2回3地区にて、山陽小野田市においては、年4回中学校単位で開催されており、班編成で報告がされています。特に簡素化、統一化され



山陽小野田市

たフォーマットがあり、どの会場でも誰が報告しても同一の内容になるよう配慮がなされていました。

合志市市議会として、平成25年度より会派制の導入、及び議会報告会の開催が決定している中で、今回の研修が大きな一歩になったと感じられる研修でした。今回の研修を含め、議員各位、市民の皆様のご意見を賜りながら開かれた議会づくりに向け努力していくことを再確認しました。

議会広報調査特別委員会

2月18～19日 福岡県太宰府市・佐賀県嬉野市

【視察委員】 委員長 島田 敏春 副委員長 後藤 修一
委員 濱元 幸一郎 委員 松本 龍一
委員 西島 隆博



太宰府市視察

議会広報編集方針等について

2月18日 福岡県太宰府市
太宰府市は、昭和57年に市政施行された市で、面積29・58㎦、人口約7万人で、高速道路やJR、西鉄等交通の便も非常に良好な地域で、大学、短大等が8校もあり文教都市として、また古くは九州全体を治めた役所も置かれたり、大宰府天満宮も有名で歴史と活気のある市でした。

広報委員会は各常任委員会から2名と委員長の7名で構成されています。広報紙が市民にわかりやすくを目標に写真を活用しての紙面作りに努力していました。

2月19日 佐賀県嬉野市

嬉野市は平成18年嬉野市と塩田町が合併し、面積126・51㎦、人口約2万9千人で、長崎自動車道や国道34号線等交通の便も良く、古くから長崎街道の宿場町として栄え、嬉野温泉で有名です。お茶や陶磁器等の産業も盛んで住みやすいような地域でした。

広報委員会は8名で構成されており、広報紙が市民にいかに読んでもらえるか、わかりやすくするために、身近な写真や余白を活用する等紙面作りに、また議会閉会後30日で発行するために編集作業を連続して行うなど努力されました。



嬉野市視察

所感

今回の視察研修では、広報紙が市民にわかりやすく、いかに読んでもらえるか、また発行までを早くするために努力されていることに感心させられました。

広報委員会としても参考になったことを十分検討していきたいと思えます。

通学路は子どもだけが 利用するとは限らない

上田 欣也 議員



上田 市道の工事予定箇所の順位と今後継続的に取り組む課題は。

建設課長 交通状況、道路の傷み具合、地区の要望などいろいろな観点から中長期計画を、財政計画に合わせ5年間の年度計画を立てている。用地の確保、また延長400キロを超える舗装打ち換えが課題だが、年間10キロ足らずしかできていない。

上田 通学路の危険箇所は。

学校教育課長 平成24年度各学校から50箇所の改善要望が上がっていて、昨年9月警察、県、市など関係者による合同点検を実施した。

建設課長 カラー舗装を進めつつ、簡易な工事はその都度対応している。点検で指摘された箇所は今後取り組まなければならない。

上田 通学路は老若男女を問わず市民が通る道路でもある。整備はもちろんだが、自動車を運転する側の問題も多い。

副市長 交通の問題は、環境から安全教育まで幅広いが、今後とも関係者同士で連携していきたい。

市長 子どもたちの安全のためには時間帯規制や一方通行、進入禁止等にすべき箇所もある。通学路の見直しと共に働きかけをしたい。

上田 重点区域土地利用計画書にある「サイクルタウン構想」について、まちづくり戦略室長 交通上の安全性確保、財源調整も必要になるので現在具体的な計画はない。

上田 自転車も乗せられる菊池電車もあるのに、合志市のPRに結び付けてはどうか。自治会への加入状況と意見交換について何う。

総務課長 それぞれの地区に応じた支援活動を行っていききたい。

上田 「現金」も大事だが、病気でも障がいがあっても、合志市民一人ひとりの「元氣」がもっと大切というまちづくりを目指したい。



自転車も通れる歩道

なぜ小中学校の新設を 検討しないのか

神田 公司 議員



神田 「今後の小中学校における児童生徒数の推移について」開発等に伴う児童生徒数の推計資料」で平成30年、平成36年までの予測を出されているが、どこがピークなのか。

教育部長 ピークについては、住民基本台帳における未就学児童の推移と併せ、開発の動向を見ながら出す必要がある。合志南小学校、南ヶ丘小学校、西合志南小学校区はまだまだ人口が住民基本台帳の状況だけでも伸びるとの予測ができる。ここしばらくは、児童生徒数は増加していくと予測を立てている。ピークをいつにするかは難しい。

神田 3月1日現在の人口でも0歳が662人、15歳が561人で100人以上も多い。一番人口の多い年齢は3歳児。3歳児が中学校3年生になるのは12年後ということになる。合志市南部地域の開発計画による区画が埋まったとして1.319世帯×1.6人(1世帯当たりの15歳までの人口)112,110人。これにアパート建設などを入れるとさらに上回る。この数

字の中で7割弱が未就学児、3割弱が小学生、若干数が中学生であり、15年〜20年先を見通し新設の検討に入るべきだ。

教育部長 校舎敷地内に敷地があるので、今後の対策として学校の分離、新設、校区の見直しは行わずに、増築によって対処していきたい。新設をどうして考えないのかということだが、児童生徒数の予測を立てて、増築でいけるといふ予測の中で方向性を出した。今ここで新設となるとどうしても学校校区の分離というものも併せて考えなくてはならない。これによる市民の「無用な心配・混乱」は起こすべきではない。

神田 合志南小、南ヶ丘小、西合志東小、西合志南小が予想では、平成30年に921人、823人、1,110人、881人、合志中、西合志南中とも1,000人に近くなる。教育委員会として「適正規模」の観点から今の学校の状況が良い状況なのかどうか、検討しなくていいのか、「無用な心配」とは論外だ。

子どもの医療費 無料化について

濱元 幸一郎 議員



濱元 平成23年度からは、菊陽町や菊池市でも中学3年生までの医療費無料化が実施されている。大津町は町長が中学3年生までの医療費無料化の実施を表明された。こうしたことから、市民のみなさんから「合志市ではいつになったら中学3年生までの医療費無料化を実施してくれるのか」との声が寄せられている。中学3年生までの医療費無料化拡大についての検討状況は。

市長 子どもの医療費については中3まで拡大していいのではと考えていた。しかし保育園待機児童の解消や小中学校へのエアコン設置を進めるなかで、これを優先していきたい。

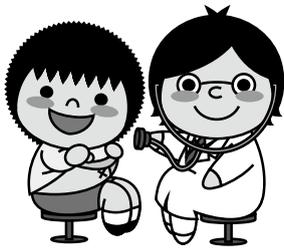
濱元 子どもの医療費無料化拡大も子どもの命と健康にかかわる問題だ。エアコンの設置や待機児童の解消と並んで合志市の重要な課題である。子育て支援策が充実しているかどうかを判断する大きな基準となるのが子どもの医療費無料化ではないか。菊池郡市では義務教育終了まで無料化が主流となっている。子どもたちが病気や怪我をしたときに、お金の

心配なく受診できるようにする必要がある。ぜひ実施すべきだ。

市長 やらないと言っているのではない。優先順位をつけているということを考えてほしい。

濱元 次は合志市外の医療機関を受診した場合でも、償還払いではなく現物給付（窓口払い無料化）にできないかという質問である。調査したところ大津町では県内で窓口無料化を実施している。大津町に倣って合志市でも実施すべきではないか。

子育て支援課長 合志市内に専門の医療機関も多いので、いまのところ県内での現物給付については考えていない。



緊急時の連絡内容を 明確に！

坂本 早苗 議員



坂本 2月に行方不明の女性を探す防災無線放送があったが、幾久富では地域がわかりにくく、区名での放送はできなかったのか。

総務課長 警察の依頼に基づき放送を行っている。今後は、第1報は警察情報を流し、第2報以降は関係者に連絡を取り区名等の放送を行う。また区長さんへも連絡を行うようにしたい。

坂本 防災無線のデジタル化が計画されているが、それによって聞こえない不満が解消できるのか。

総務課長 放送内容を電話で確認できるサービスや緊急情報を携帯電話に送信するエリアメールや登録制メールの活用ができるようにしたい。また屋外拡声子局の増設などを考えている。



ノーマイカーデーの実施を！

坂本 職員のマイカー通勤を自粛し、ウォーキングや自転車、公共交通利用での通勤を進めるノーマイカーデーを

実施してはどうか。強制しないで月に1度くらい緩やかな取り組みはできないか。市長が率先して実行してはどうか。

総務課長 指定日を設けずに職員にノーマイカーデーを働きかけたい。
市長 健康づくりのために実行したい。

情報公開No.1になろう！

坂本 昨年公表された県内の情報公開度では合志市は第3位。教育委員会の議事録はHPに掲載され、議会のインターネット中継はもうすぐ始まる予定。各種審議会等の情報公開はどこまで進展しているのか。

企画課長 情報提供の推進に関する要綱を改正し、会議の事前告知や会議録の公表を進めている。

坂本 HP上に様々な情報が掲載されているが、会議の事前告知や会議録は見つけにくい。わかりやすくできないか。

企画課長 会議録の公表は徹底していきたい。HPでの検索をしやすい方法を工夫したい。

旧給食センター跡地の 利活用

丸内三千代 議員



丸内 旧給食センター跡地を利活用した県の委託事業でひとり親家庭を対象のコールセンター業務講習が行われている。業者は、今後市民40〜50人を雇用してスムーズな業務にこなげていくとしているが、雇用確保の観点からどのようなバックアップが考えられるのか。

政策部長 事業所としての開設への各種許認可の手続きや施設改修等の支援を検討していきたい。

丸内 市民が習得したテレワークの技能を生かした企業の誘致が行われ、ひとり親家庭の就労が実現し自立した生活の安定が図られ、また市民の雇用確保に期待をするが。

政策部長 コールセンター業務は、市の環境に合う業種であり、地元からの採用が期待できるので、今後ネットワークの部分もあるのでクリアするよう取り組んでいく。

市長マニフェスト

丸内 今議会で提案される小中学校全教室にエアコン設置の予算をとり

たいとのことで、全児童生徒の教育環境が整うがこの事業に対する思いは。

市長 本来、この事業の趣旨は、立場的に弱い父子母子家庭の児童生徒が少しでも学習環境が整ったところで勉強をして受験に備えて欲しいと思つてのことであつた。今回、国の緊急経済対策交付金があり対応した。

丸内 市長は選挙向けのマニフェストは作らない。マニフェストに書いたからするというのにも、疑問であると思つている。しかし、片方では循環型マニフェストサイクルを繰り返すことで豊かな社会実現につながることも言われているが、どう捉えている。

市長 福祉の向上は大切であるが、財政の破綻を起こすようなマニフェストや選挙に勝つため市民に受けの良いマニフェストは作りません。実現するため心血を注ぎ作つた。

TPP交渉参加表明 どいつまで日本の農業を守るのか

松本龍一 議員



TPPについて

松本 3月15日に安倍総理が交渉参加表明をしたことを、どのように受け止められているか。

市長 アメリカの一方的なルールの押し付けや国益を損なうような形でTPP参加であれば反対する。県も農業を守る立場で判断すると言っているの、それに準ずる。

松本 昨年12月の選挙では、多くの候補がTPP反対を唱えていたが、自民党が公約を強く打ち出したことで反対しづらくなった。今後、公約の遵守と情報公開を求めていくべきだ。公聴会を開いてはどうか。

市長 政府には、しっかりと公約を守ってもらわなくてはいけない。その点を注意深く見守つてゆく。国民に対する情報伝達は重要である。公聴会を開く必要性を感じる。

土地利用について

松本 計画的な土地利用の推進は、最重要施策である。重点区域の開発計画と進捗状況はどうなっているの

か。

都市計画課長 飯高山南部を住宅地区、J-T前の工業団地とつながる11ヘクタールは、商業地区として計画している。現在、県と交渉中である。具体的な日程は、まだ見えていない。

松本 県有地の土地利用計画は、なされているか。

政策部長 今後、「土地利用プロジェクトチーム」や市民を交えた土地利用審議会等で検討してゆく。

松本 規制緩和に対する取り組みと課題は何か。

都市計画課長 農地転用の許認可、市街化調整区域内の商業施設の規模や集落内の住宅開発に対する規制緩和を得ることは、容易ではない。今後とも、粘り強く要望し交渉を続けてゆく。



住宅開発が進む南部地区

協働による

まちづくり

尾方 洋直 議員



＝ 都市計画課長

尾方 合志市における人口増加は、将来像に掲げる「未来輝く産業・定住拠点都市」実現に向けて必要であるのか。

都市計画課長 人口増加によって新たな産業を創出することになり、雇用環境の整備、ひいては自主財源の確保につながる施策を併せて推進していくことが、将来的な産業・定住拠点都市を形成していくうえで、最大の課題であると認識しています。

尾方 開発行為について、申請提出から許可交付まで時間が掛かり過ぎといわれているが改善できないか。

都市計画課長 事前協議、公告縦覧そして都市計画審議会等の協議に時間を必要とします。審議会については開催月が基本的には決まっていますが、現在は随時開催をしています。

尾方 開発によって公園緑地を設けているが、狭くて利用面からして問題である。対策はないのか。

都市計画課長 開発申請地の新設公園については、位置を既存公園と一

体化を図り広く利用できる構造になるよう指導しています。

＝ 大気汚染PM2.5課長

尾方 3月5日に高濃度のPM2.5の飛来があったが、その時の市の対応は。

環境衛生課長 その日の午前9時40分防災無線により、市民に注意喚起の放送をした。また、子育て支援課、学校教育課を通じて、保育園、幼稚園、小中学校へ周知を行った。さらに緊急情報として、市のホームページに掲載した。



都市公園利用風景

次世代自動車充電インフラ整備促進について

松井 美津子 議員



松井 本市において生活困窮者の取り組みについて伺う。

福祉課長 国では相談窓口の設置や、訪問等の支援等、総合的な支援が議論されており、国と県のモデル事業に菊池広域で取り組んでいく。

松井 「リバースモーゲージ制度」を高齢者が利用しやすいように条件緩和の働きかけについて。

福祉課長 厚生労働省と各県の社協が民間の評価額を考慮して決めた額なので難しい。

松井 通学路の安全対策について。本市では「点検必要箇所」「対策必要箇所数」が50か所と公表されているが文科省の通学路安全推進事業の予算が活用できるか。

建設課長 平成24年度国の補正予算防災安全社会資本整備交付金で、カラー舗装3路線、舗装の打ち換えで10路線を調査して活用したい。

松井 食物アレルギー事故防止対策として専門の先生によるエビペンの使い方の研修とアレルギー対応検討会議の設置について。

教育部長 エビペンが必要な生徒は3名、研修については全教職員が養護教諭を中心におこなっている。エビペンの保管も考えていくし、専門家による研修も計画していく。

松井 次世代自動車充電インフラ整備についてはエコ社会の実現に向けて市民の新たなニーズです。地域の元気臨時交付金の活用について。

商工振興課長 今後、EV自動車の普及の推移を見て対応していく。平成24・25年度補正予算の事業として熊本県は、EV・PHVタウン構想のモデル地区に指定されているので、本市では平成25年度のユー

パレス弁天の改修時期に合わせて設置をお願いしている。予定である。



通学路のイメージブロック

学校、教育現場から 体罰の一掃を!!

今村直登議員



== R-1乳酸菌の活用 ==

今村 佐賀県有田町では、R-1乳酸菌ヨーグルトを子どもたちに飲用させ、健康増進活動に取り組み、それがインフルエンザの予防につながっている。本市でも健康都市を掲げているが、これを活用しては。

== 健康づくり推進課長 佐賀県有田町 ==

では、乳業会社が新製品の開発のために、有田町に依頼したということ、本市では広報等でR-1乳酸菌の効能などを周知したいと思っ

== 教育現場から体罰の一掃を!! ==

今村 大阪の桜宮高校のバスケット部のキャプテンが監督から常習的な体罰を受け自殺した。このことから文科省は体罰の実態調査を各教育委員会に指示している。本市の実態は。

== 教育審議員 現在、まだ調査中 ==

で正確なことは言えないが、処分を受けるような体罰はあっていない。この事件を受け、教育の現場から体罰を一掃されなければならぬ。

今村 小さい時から常習的に体罰を受ける脳が萎縮することが医学的に証明されている。そのことで思考力や自発性（やる気）が鈍ったり、自制心が育っていかなくなったり、本能的な欲求や衝動を抑える機能が影響を受け、犯罪を繰り返すことになりかねない。教育委員会が率先して

体罰の研修等を行い、合志市から悲惨な事例が起きないようにしてほしい。

== マタニ対策について ==

今村 マタニ（SFTSウイルス《重症熱性血小板減少症候群》）に嘔まれて死亡した例が報告された。緊急の対策を講じることではないが、なにか対策を考えているか。

== 環境衛生課長 予防対策としては ==

草むら等に入るときは長袖、長ズボン等を身に付け、発熱があった場合の対応等について国県の指導もあり、ホームページや広報で周知を図りたい。

健康都市づくり!!

来海恵子議員



来海 健康づくりで有名な新潟県上越市に、2月に行ってきた。上越市では、健康づくりと国保、高齢者支援課が協力し、医療費が月200万円以上のレセプトを抜き出して

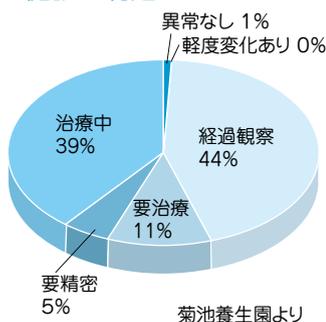
分析と、重度認定者の介護認定申請時の医師の意見書をスキャナーしてデータを作り上げ、個人情報審査会にかけて上越市の市民の健康の特徴を分析していました。私は福祉課の障がい者のデータも加えれば、より正確に分析できると思います。なぜならば、障害手帳をもっている方の中で、肢体不自由が55%、心臓が22%、腎臓が6%です。肢体不自由の中には脳疾患等の後遺症も多く、事前に予防すれば障害手帳を持たないで良かったかもしれません。合志市も市民の健康の分析と対策のために、まずは1年かけてデータを作成するべきだと考えますが。

来海 合志市の死亡原因ベスト3は、1位が癌、2位が心疾患、3位が脳血管疾患、2位と3位で25%強あり、これらは血管の病気で健診や指導で防ぐことができます。そのためにもデータを作り分析して、訪問指導が必要。医療費削減をしている上越市、阿蘇市、埼玉県小鹿野町では訪問指導に力を入れています。合志市でも訪問指導に力を入れるべきではないでしょうか。

健康づくり推進課長 訪問指導（成人保健） については手薄になり、乳幼児・障がい児が増えてこちらに趣がシフトしており、特定検診や癌検診後のフォローが足りません。マンパワーが必要なので、事務関係を見直します。

健康づくり推進課長 合志市の医療費や介護の状況など知るには、データの一元化は必要なので取り組んでいきたいと思います。

健診の判定



● 事務組合行事報告 ●

【出席議員】

2013年3月28日
菊池広域連合議会

定例会

池永・島田
来海・吉永

2013年3月29日
菊池環境保全組合議会

全員協議会・臨時議会

木場田
坂本(武)



広域連合定例会



菊池環境保全組合研修会

平成25年第2回定例会日程(予定)

月	日	曜	会議名	主な内容
6	7	金	本会議	市長提出議案上程及び説明
	13	木	本会議	質疑、委員会付託
	14	金	常任委員会	付託事件の審査
	17	月		
	19	水	本会議	一般質問
	20	木		
	21	金		
	25	火	本会議	委員会報告 (質疑、討論、評決) 議員提出議案 (上程、質疑、討論、評決)

※日程は、変更になる場合があります。

議会だよりに対するご意見は

合志市議会事務局

電話 **096-248-1111** (代表)
248-2038 (直通)

Fax **096-248-2047**

メールアドレス gikai@city.koshi.lg.jp

表紙のはなし



3月2日

文化会館で行われたヴィーブル子ども劇団公演の様子。合志1300年歴史事業の一環として、竹迫城にまつわる「しろへび伝説」をモチーフにして作られた劇です。タイトルは「未来へ」。郷土の歴史を知り、現在の知識を学び、未来へ大きくはばたく子どもたちに期待したい。



熊本市議会議員研修会
2月21日(木)に熊本ホテルキャッスルにて県下14市の市議会議員でジャーナリスト櫻井よし子氏をまねいての研修会に参加しました。



竹迫初市
竹迫地区に約250年前から伝わる春の伝統行事「竹迫初市」が3月3日(日)、合志合同庁舎前の駐車場で開催されました。



小中学校卒業式
3月9日(土)に市内3つの中学校(525名)、3月21日(木)に市内7つの小学校(647名)で涙の卒業式がありました。



キャラクタードラフト会議
3月30日(土)熊本高等専門学校熊本キャンパスにおいて、高校生から社会人までを対象にマンガ・アニメのクリエイター育成事業「響創塾」を実施して今回、その成果発表会をしました。



春ウォークラリー大会

3月31日(日)にヴィーブルふれあい緑地や蛇ノ尾公園をめぐるコース(全長6km)で開催されました。



議会の動き

(1月~3月)

【1月】

- 9日 議会広報調査特別委員会
- 15日 静岡県裾野市議会より「事務事業評価と施策評価を次年度にどのように活かすか」について視察研修
- 16日 京都府綾部市議会より「施策評価・議会活性化・住民投票」について視察研修
- 18日 全員協議会
議会広報調査特別委員会
- 23日 議会広報調査特別委員会
- 24日 山口県山口市議会より「総合計画と連動した行政評価システム及び議会との関わりについて」視察研修
- 28日 議会広報調査特別委員会
徳島県吉野川市議会より「コミュニティバス・乗合タクシーについて」視察研修
- 29日 第1回臨時会
議会運営委員会
- 31日 滋賀県近江八幡市議会より「合志ブランドについて」視察研修
九州市議会議長会第4回理事会(鹿児島県)

【2月】

- 5日 福岡県八女市議会より「議会広報紙の編集について」視察研修
- 7日 京都府宮津市議会より「特産品地域ブランドの推進について」視察研修
- 8日 三重県鈴鹿市議会より「病児・病後児保育施設」について視察研修
- 12~13日 議会運営委員会行政視察研修(山口県)
- 18~19日 議会広報調査特別委員会行政視察研修(福岡県、佐賀県)
- 20日 議会運営委員会
- 21日 全員協議会
熊本市議会議員研修会(熊本市)

【3月】

- 1日 議会運営委員会
第1回(3月)定例会開会
全員協議会
- 7日 全員協議会
連合審査会
- 15日 議会広報調査特別委員会
- 22日 第1回(3月)定例会閉会
- 25日 広島県東広島市議会より「議会による施策評価と次年度予算への反映について」視察研修
- 27日 山口県周南市議会より「事務事業評価と施策評価システムについて」視察研修
議会広報調査特別委員会

議会報告会

を開催します



合志市議会では、初めての議会報告会を開催します。

3月定例会の審議内容や議会の取り組みについて、ご報告いたします。

また地域の課題や要望等、みなさんのご意見をお聞かせください。

みなさんのご参加をお待ちしています。



5月11日(土)

開場 午後6時30分

開会 午後7時

**ヴィーブル
文化会館**

5月18日(土)

開場 午後6時30分

開会 午後7時

**御代志市民センター
講堂**

議会広報調査 特別委員会

委員長 島田 敏春
副委員長 後藤 修一
委員 濱元幸一郎
委員 松本 龍一
委員 西郷 隆博

大変寒く長かった冬も過ぎ、野山の草木も花が咲き乱れ、めっきり春らしくなりました。この季節は、各学校の卒業式や入学式、職場でも通勤や入社式等が行われ、別れと出会いの時期でもあり、みんなが希望に満ちた新たな決意をして出発する時期でもあります。

合志市でも平成25年度予算を決定し、新年度としてスタートします。

一方、国のほうではデフレ脱却へ向けた経済対策として金融緩和、財政出動、成長戦略の3本の柱として対応することですが、成果を期待したいと思います。反面、TPP問題で農業や各種制度面で思いがけないような状況にならないのか心配な面もあるようです。今後も日本の国民全体が安心して暮らせるような方向に進むように願いたいものです。

編集後記



合志市議会だより **きずな**
No.29 2013年4月25日

〒861-1195 熊本県合志市竹迫2140
TEL (096) 248-2038 URL www.city.koshi.lg.jp/
発行/合志市議会 編集/議会広報調査特別委員会